

3月10日(火)

人生を一つに結びつけるお方

聖書朗読 コロサイ人への手紙 1:15~23

御子は、万物よりも先に存在し、万物は御子にあって成り立っています。

コロサイ 1:17

キリスト教音楽は、周りの声私たちの生き方にどのような影響を及ぼすかについて語ることで始まります。私たちの文化は様々な意見によって構成されています。この多様性により私たちの人生が不確かで混沌としているように見える時があります。

コロサイ人へ宛てたパウロの手紙では、これと同じようなことが記されています。若いキリスト者に対して偽りの教えの様々な誘惑があったこと、パウロはコロサイ人への手紙で述べています。それにより彼らの心は壊され、粉々に砕かれてしまいました。

ですから、このような状態をもとに戻す必要がありました。パウロは人々の人生をしっかり一つに結びつける接着剤のようなお方について明白に語っています。『万物は御子にあって成り立っています』と。イエス様は、私たちが描くキャンバスのフレームであるお方です。フレームなしでは私たちは自分の人生というキャンバスを彩ることができないのです。私たちは、福音の真理を通してのみ、人生に何が起ころうとも前に進んでいくために必要な霊的な知恵と理解力を得ることができます。

私たちの文化の中において多種多様な声は静まる様子がありません。しかし、イエス様の声、つまりイエス様を通してのみ私たちは完全なる状態になることができます。イエス様だけが、私たちの壊れた人生をもとに戻すことができるお方なのです。

讃美歌 85 主の真理は 荒磯の岩

祈り 親愛なる神様、福音の真理の御言葉を感謝いたします。どうか、私たちの文化にあふれている騒音の中、バラバラにならないよう、私たちを一つに繋ぎ止めてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

オクラホマ州 エドモンド / ハロルド・シャンク

3月11日(水)

聞きなさい

聖書朗読 ヤコブの手紙 1:22~25

神である主は、私に弟子の舌を与え、疲れた者をことばで励ますことを教え、朝ごとに、私を呼びさまし、私の耳を開かせて、私が弟子のように聞くようにされる。

イザヤ 50:4

小さい頃、私は祖母の家に行くのが好きでした。祖母の家で聞く音すべてが大好きだったのです！ その中でも、遠くの列車が鳴らす、かすれた警笛の音や、ベランダのすぐそばで鳴く鳩の鳴き声が好きで、耳を澄まして待っていたものです。大きくなったら、このような音を毎日聞くことができる場所に住みたいと思っていました。そして今、私はその夢をかなえています。

ダビデは、争いをやめて聞きなさい、と私たちがすべきことを教えてくれています。(詩篇46:10) 耳を澄まして聞くことで私たちの心は神様に向きます。それだけでは終わらず、聞くことで私たちの中に神のしもべとしての心が芽生えるのです。

私たちは耳があるにもかかわらず、意識的に耳を傾けなければ聞くことができません。傷ついている人や孤独な人の思いに耳を傾けましょう。職場や教会で人々に挨拶をしますよね。その時、あなたは意識して、彼らの名前を、そして彼らが何を必要としているかを聞こうとしていますか。

子どものころ、幸せな気持ちにさせてくれる音を聞くことができ、私は幸せでした。そして今、私は大人になり、聞くことの霊的な価値を知りました。私は聞くことで神様に仕えることができます。昔の詩人*が言っているように、“知恵を得るための第一歩は沈黙、第二は聞くこと”です。(編注：ソロモン・イブン・ガビーロール)

讃美歌 339 君なるイエスよ けがれし我を

祈り お父様、あなた様はある目的を持って私たちに耳を与えてくださいました。その目的とは祝福を得ることです。あなたが私の心を聞いてくださっているように、私もみことばに心から耳を傾けることができますように。イエス様の御名により。アーメン。

コロラド州 プエブロ / キャロル・ローズ

3月12日(木)

ゆ っ く り じ っ く り

聖書朗読 詩篇 1篇

まことに、その人は主のおしえを喜びとし、昼も夜もそのおしえを口ずさむ。

詩篇 1:2

日々忙しい私たちは、ドライブスルーのように、何でも短時間で用事を済ませてしまいたいと思ってしまいます。最近、友達から「たまには同じ聖書箇所を30分間何度も読んで、そしてそこから得た考えやひらめき全てを書き出すといいよ。50も見つけれないんじゃないかな。」と言われました。せっかちな私には、聖書勉強でスピードを落とすという難題を突き付けられた気がしました。

でも、私はやってみました！ 50個書き出すことはできませんでしたが、30分もの間、集中して聖書を読んだことで、より深い視点で、より個人的に見ることができました。私は、ゆっくり、じっくりと聖書を読みました。30分の聖書朗読の成果を友達に報告すると、友達は「最も鋭いひらめきは、最初の5分ではなく、最後の5分の時のものでしょ？」と言いました。その通りでした。聖句を味わうためには、時間をかけてよく知る必要があります。30分を知らせるタイマーが鳴った時、私はまだ読み続けていました。

《今日の力》の読者から、その日のお勧めの讃美歌を一日中歌うという話を聞いたことがあります。名案ですね。別の読者は、聖書朗読箇所から4つか5つ言葉を選んで、その日一日暗唱すると言っていました。これらの習慣は、神様の真理について熟考し、その日のみことばをゆっくり、じっくり味わうことに大変役立ちます。ゆっくり、じっくりは、私たちの人生を豊かにします！

讃美歌 298 やすかれ わがこころよ

祈り お父様、今日あなた様とともに座り、静まって、今日の聖句についてゆっくり、じっくり考えたいと思います。あなた様が望まれるものを聞くために必要な集中力をお与えください。イエス様のお名前によって。アーメン。

編集者 エミリー Y・レムリー

3月13日(金)

兄 の 言 う こ と は も っ と も だ

聖書朗読 ルカの福音書 15:25~32

しかし兄は父にこう言った。『ご覧なさい。長年の間、私はお父さんに仕え、戒めを破ったことは一度もありません。その私には、友だちと楽しめと言って、子山羊一匹下ったことはありません。』
ルカ 15:29

兄に全く非はありません！ 兄は、息子のようにでもなく、ましてや雇い人のようにでもなく、奴隷のように一生懸命働きました。父の言いつけに背くことなく、尽くすことで父を敬いました。兄は父の財産を食いつぶすことなく守っていました。兄は不道徳や不名誉に陥ることもなく、常に親切で、忠実で、儉約家で、生産的で、どこまでも道徳的でした。彼の言うことはもっともです。

弟は、父に自分が受け取るべき財産を今、すべて欲しいと言い、父に背を向けて家を去りました。そして今、弟はぼろぼろになって、無一文で、ひどく飢えた状態で戻ってきました。弟は完全に間違っていたのです。

しかし、父は弟のもとに駆け寄り、その家では誰もしてもらえなかったような仕方でもてなしました。家宝の指輪、新しい靴、新しい着物を彼に与えました。なんと不公平なことでしょう。

神様の恵みは“公平”ではありません。それは犠牲的な愛です。兄の過ちは、愛、恵みやあわれみが彼の目の前にあったときに、彼がそれに気が付かなかったことです。

讃美歌第二編 191 主のまことは くしきかな

祈り お父様、あなた様が待ってくださっているのが私たちには見えます。あなた様が駆け寄ってきてくださっているのが私たちには見えます。私たちのために降り注ぐめぐみに心から感謝いたします。イエス様のお名前によって。アーメン。

編集者 スティーブン S・レムリー



3月14日(土)

あなたによって祝福される

聖書朗読 創世記 12:1~8

そこで、ひとりの、しかも死んだも同様のアブラハムから、天の星のように、また海べの数えきれない砂のように数多い子孫が生まれたのです。

ヘブル 11:12

何世代にもわたって私の家族はイエス様の教えに従ってきました。なんという祝福でしょう！ 私は信仰について自分で決めましたが、先祖たちの選択が私の決断に大きく影響を与えているのは確かです。

神様が約束の地にアブラムを遣わした時、『地上のすべての民族は、あなたによって祝福される。』（創世記12:3）とアブラムにおっしゃいました。この時、アブラムと妻サライの間には子どもはいなかったにもかかわらずです！ この大胆な約束を神様はされ、イサクを通して、最後はイエス様まで導かれました。

私たち自身の信仰がどのような影響を持つかわかりません。でも、アブラムを通してわかるように、一人の信仰が何世代にも渡って影響を及ぼすことがあり得るのです。家族や他の人々の前でイエス様の教えに従う私たちの姿が、彼らだけでなく、彼らの子どもたち、さらには子孫たちの人生に影響を及ぼすこともあり得るのです。

やりとり全てが、励ましの言葉全てが、信仰の言葉全てが、そしてイエス様の御名によって行う奉仕全てが、誰かの祝福につながる機会です。神様がアブラムを用いられたように、イエス様と共に歩むあなたの信仰によって、直接あなたが知らない人までもが、あなたによって祝福されるのです。

讃美歌 270 信仰こそ旅路を

祈り ご在天のお父様、あなた様の栄光のために私たちをお用いください。あなた様のみこころを行うためのささやかな努力が、あなた様の力によって強められ、何倍にも大きくなりますように。イエス様の御名によって。アーメン。

インディアナ州 ラファイエット / ジョシュ・ボイド

3月15日(日)

自己犠牲の力

聖書朗読 創世記 13:5~18

そこで、アブラムはロトに言った。「どうか私とあなたとの間、また私の牧者たちとあなたの牧者たちとの間に、争いがないようにしてくれ。私たちは、親類同士なのだから。創 13:8

アブラハムとロト、叔父と甥は長い間ともに暮らしていましたが、互いの財産が増え、争いを避けるために別に暮らすことにしました。しかし、そこにはある難題がありました。それは、どちらが先に定住する地を選ぶかということです。本来であれば、先に選ぶことができるのはアブラハムです。アブラハムはロトより年上で、家族の長でしたから、彼が先に選ぶのは当然の事でした。しかし、アブラハムはその権利を行使しないことを選びました。代わりに、もっと良いもの、家族の平和をアブラハムは選びました。『争いがないようにしてくれ。私たちは、親類同士なのだから。』（創世記13:8）

自己犠牲の例は他にも聖書の中に見ることができます。人々のために本来なら自分のものを手放した人たちです。例えば、宮で施しを受けることもできたのに、その代わりに人々を助けるためにレプタ銅貨を二つ投げ入れたやもめ。(マルコ 12:41~44) 苦勞して稼いだお金をイエス様の足に塗るための高価な香油に使ったマリヤ。(ヨハネ 12:3) 福音宣教のために、家や家族のもとを離れた使徒たちや伝道者たち。

そして、人々を救うために自らの命を捨てられたイエス様ご自身こそ、自己犠牲の完璧な例です。『だれも、わたしからいのちを取った者はいません。わたしが自分からいのちを捨てるのです。』（ヨハネ10:18）

自己犠牲は決して簡単なことではありません。でも、それはいつも力強く、いつも美しく、そしていつも正しいのです。

讃美歌 403 かみによりて いつくしめる

祈り お父様、御子イエス様が私たちのために命を捧げてくださったように、私も、あなたの聖なる御名ために、人々にお仕えする道を見出せますように。イエス様の御名によって。アーメン。

ノースキャロライナ州 ダーラム / ポール・ワトソン